

Progressiveプロジェクト推進事業
「国際交流員・留学生との交流授業（異文化理解）」要項 改訂版

- 1 目的 本校で学習している外国語を母国語としている方々との交流を通して異文化理解を深めるとともに中韓ビジネスの学習成果を体感する。
- 2 対象 国際経済科1・2年生（1年C組・D組、2年C組・D組）
- 3 実施時期 1年生 3月18日（金）3・4校時（5短4時間授業）
2年生 3月17日（木）2・3校時
- 4 講師等 英語 大学関係者2名 一般1名
中国語 留学生3名
韓国語 留学生3名
- 5 場所 体育館
1コマ目は国際交流員による講演約10分ずつ×3名。
2コマ目は国際交流員及び留学生との交流。
- 講演で使用する会場は準備の関係から17日1時間目、18日2時間目は授業を入れないように配慮してもらう。
- 6 内容 詳細については『国際交流員・留学生との交流授業（異文化理解）資料①・②・③』参照

1) 生徒80人を国際交流員と留学生の数に応じてグループ分けをする。

2) 授業の大まかな流れについて。

■事前学習…3時間

ア) 事前指導（話を聴く姿勢について・質問の仕方について）…0.5時間

イ) 自己紹介の仕方について学習（3ヶ国語で）……………0.5時間

ウ) 調べ学習（担当テーマ毎+班毎）……………2時間

調べるテーマ（例①産業 ②歴史 ③食文化 ④スポーツ

⑤地理 ⑥教育 ⑦伝統芸能・芸能 ⑧観光などについて調べる。）

■本時…2時間

ア) 講話……………1時間

イ) 自己紹介をそれぞれ3ヶ国語で行う。

ウ) 調べ学習の内容について質問をする。

エ) 一人一回は質問をする。

オ) 事前学習の内容の正否について確認する機会とする。

} 1時間

■事後学習…2時間

△確認テスト……………0.5時間

△まとめ（本時で確認したことや交流を通しての感想等）……………1.5時間

- 7 役割分担
- △リーダー 1名
 - △渉外 2名
 - △会場設営 国際経済科教員
 - △記録（ビデオ、デジカメ） 1名
 - △事前・事後指導 4名
 - △本時の指導 国際経済科教員
 - △横看板作成 1名

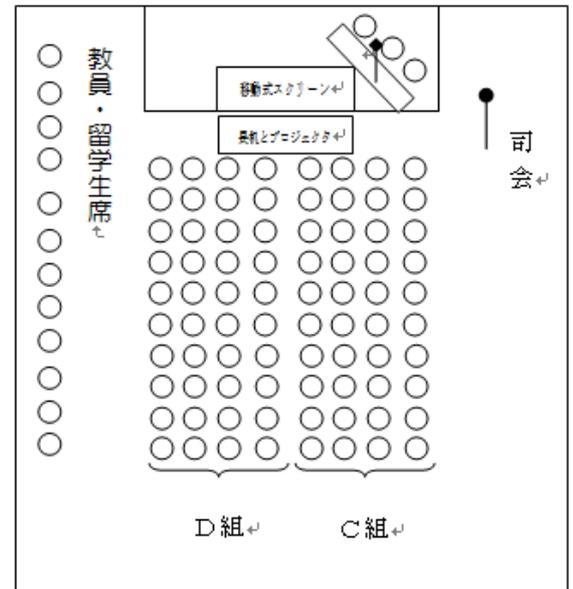
国際交流員・留学生との交流授業（異文化理解）資料①（講演）

- 1 実施日時 3月17日（木）2・3校時 10:00~10:50 11:00~11:50 2年生
3月18日（金）3・4校時（5短4時間授業）10:50~11:35 11:45~12:30 1年生

2 場 所 体育館

3 講演会次第

	17日	18日	内 容	担当
			司会	
①	9:55	10:45	整列指導	
②	10:00	10:50	挨拶（授業開始） 講師紹介	
③	10:05	10:55	講演 アメリカ（10分程度） 中国（10分程度） 韓国（10分程度）	交流員
④	10:40	11:30	諸連絡	
⑤	10:42	11:32	交流会会場設営（椅子の移動） ※裏面参照	
⑥	10:50	11:35	挨拶（授業終了）	



4 会場設営

	17日	18日	内 容	担当
①	9:00 ~ 9:30	9:55 ~ 10:20	教員・留学生用の椅子を用意する。（ステージ下のパイプ椅子）	国際経済科教員
②			演台	
③			マイク2本（司会用・講師用）	
④			向かってステージ右側に講師待機場所（長机とパイプ椅子）を設営	
⑤			プロジェクタ・移動式スクリーン・パソコンを設置	
⑥			（プロジェクタ・移動式スクリーン・パソコンの事前準備）	
⑦			※ペットボトルの水の購入。（事前購入）	
⑧			ペットボトルの設置	

5 その他

	17日	18日	内 容	担当	その他
①	9:20	10:10	JR新札幌駅 講師送迎 講師の対応・打ち合わせ	1名	新札幌駅 17日大会議室 18日小会議室
②	9:50	10:40	留学生集合・留学生の対応	1名	大会議室
③	10:00	10:50	講師	1名	17日大会議室→体育館 18日小会議室→体育館
④	10:10	11:00	留学生打ち合わせ	1名	大会議室
⑤	10:20	11:10	留学生誘導	1名	大会議室→体育館
⑥	12:00	12:40	JR新札幌駅 講師送迎 留学生解散	2名	新札幌駅

国際交流員・留学生との交流授業（異文化理解）資料②（交流授業）

1 交流会次第

	17日	18日	内 容		担当
			司会		1名
①	11:00	11:45	全体説明（本授業のねらい・進め方等説明）		1名
②	11:03	11:48	自己紹介1	1人30秒程度	1名+GL
③	11:08	11:53	調べ学習（事前学習）の確認1	※1	1名+GL
④	11:13	11:57	外国語による交流時間1	※2	1名+GL
⑤	11:17	12:01	ローテーション		1名
⑥	11:19	12:03	自己紹介2	1人30秒程度	1名+GL
⑦	11:24	12:08	調べ学習（事前学習）の確認2	※1	1名+GL
⑧	11:29	12:12	外国語による交流時間2	※2	1名+GL
⑨	11:33	12:16	ローテーション		1名
⑩	11:35	12:18	自己紹介3	1人30秒程度	1名+GL
⑪	11:40	12:23	調べ学習（事前学習）の確認3	※1	1名+GL
⑫	11:45	12:27	外国語による交流時間3	※2	1名+GL
⑬	11:49	12:31	挨拶		1名
⑭	11:50	12:32	後片付け・移動		1名

GL…グループリーダー ■17日・4名 ■18日・4名

担当者は進行に配慮して下さい。

ローテーション時には速やかに移動するよう指導して下さい。

積極的な交流を促して下さい。

※1 調べ学習の内容について確認をする。

必ず一人一回は質問をする。（事前に調べた内容について質問し、調べた内容の正否を確認する。）
日本語で行ってよい。

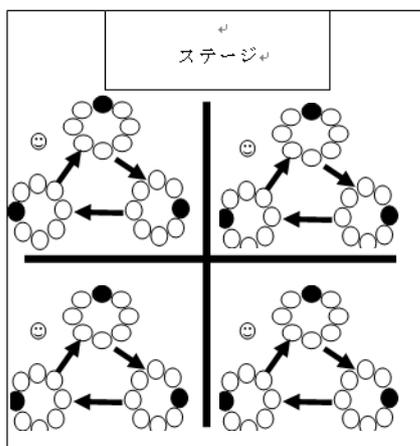
※2 外国語による交流時間

必ず一人一回は質問をする。（事前に質問を考えておく。）

原則外国語で行う。

※ 開始時刻は講演の終了時間によって繰り上がる場合があります。（時間確保のため）

2. 会場図



☆体育館を大きく4分割（4グループ）する☆

☞グループ構成（1グループにつき）

●講師3名（3カ国）×4=12名

○生徒20名 ×4=80名

（さらに1グループ内で3分割する。）

☺教員 ×4=4名

☞グループ内でローテーションする。

10分～15分程度

※講演終了後会場図のような形に椅子を移動する。

授業開始時には上記の自分の席に座っていることとする。